



地元のホープから日本のリーダーへ

茂木敏充国会通信

未来・行動・百万馬力

2004年
新春号

■ホームページ:<http://www.motegi.gr.jp>
■E-mail:toshimitsu @motegi.gr.jp

■発行所/自由民主党栃木県第5選挙区支部
〒326-0053 栃木県足利市伊勢町4丁 目14-6 TEL0284-43-3050 FAX0284-43-3060



2004年の新春 を迎えて

国務大臣 茂木敏充
衆議院議員

新年明けましておめでとうございます。

地元の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。また、昨年の衆議院選挙では皆様よりの力強いご支援のおかげで124,612票 という大きなご支持を得て4期目の当選を果たす事ができました。心より御礼申し上げます。総選挙で自民党と民主党の対立した全国246の小選挙区において、小泉総理に次ぐ第2位の高い得票率(74.1%)を獲得し、引き続き第2次小泉内閣で国務大臣を務めることとなりました。

私が国務大臣として担当する分野は科学技術、情報

通信、沖縄・北方対策と幅広く、どの分野も今日そして明日の日本にとって非常に重要な課題です。40代の若手大臣として、大胆な政策を展開していきたいと思っています。

私は昨年9月まで外務副大臣として我が国外交の先頭に立ってきました。特にイラク問題では5月初旬、戦後の政情不安が続く灼熱のイラク・バグダッドを世界の要人として最初に訪問しました。また、北朝鮮外交でも現在の政府の基本方針「対話と圧力」をいち早く提唱しました。

(P2 へつづく)

(前ページより)

現在担当する科学技術やIT分野でも、大胆な政策提言と具体的成果を重視していきたいと考えています。

科学技術分野では、日本を科学技術創造立国として再生するため、ライフサイエンス、IT、環境、ナノテクノロジーの4分野へ資源の重点配分を進めています。また、IT分野では光ファイバーをはじめとするインフラ整備の第一段階から企業経営、学校・病院、家庭や日常生活といった各分野でITの利活用を進めるといった新しい段階の政策展開を図っていきます。

同時に科学技術創造立国や高度情報化社会を支える人材の育成が大きな課題だと痛感しています。このため、「覚える量」から「考える力」に重点を移した教育改革を進めていきたいと思ひます。



5月上旬 戦後バグダッドを世界の要人として最初に訪問

昨年の日本経済は、厳しい中でも改善の兆しが見えてきた一方、足利銀行の破綻や医療・年金制度など、将来への不安も増大した一年でした。

足利銀行の問題については、地域経済への影響を最小限に止めるべく、私も小泉内閣の閣僚の一人として地域金融の安定化や中小企業対策はじめ万全の対策を取って行きます。また、医療制度や年金改革についても、将来に安心感が持てる具体案を早急に取りまとめる必要があると考えております。

今年一年の皆様よりの一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。

新年にあたり、皆様のご多幸を心よりお祈りし、ご挨拶と致します。



科学技術、IT担当大臣として、様々な関係会議を主催
左手前より麻生総務大臣、福田官房長官、小泉総理、茂木大臣
谷垣財務大臣、中川経産大臣、亀井農水大臣

第43回衆議院選挙で4期目の当選



4期目の当選を目指した昨年11月の第43回衆議院選挙。現職の大臣としてのぞんだ今回は選挙期間の大半を全国の応援に取られ、地元を留守にする選挙でした。

「地元のホープから日本のリーダーへ」「LOCAL & GLOBAL」をキャッチフレーズに、後援会や支援団体の皆様はじめ地元の皆様が一丸となって頂いた結果、124,612票という圧倒的大勝利でした。本当にありがとうございました。

自民vs民主の選挙区の得票率順位 [246選挙区]

| 順 | 選挙区 | 得票率 | 当選者 | 所属 | 相手候補 | 得票率 |
|----|-----|-------|---------|----|------|-------|
| 1 | 神奈川 | 74.42 | 小泉 純一郎 | 自民 | 民主 | 19.76 |
| 2 | 栃木 | 74.09 | 茂木 敏 充 | 自民 | 民主 | 20.89 |
| 3 | 愛媛 | 71.22 | 山本 公 一 | 自民 | 民主 | 22.82 |
| 4 | 佐賀 | 69.69 | 保利 耕 輔 | 自民 | 民主 | 24.83 |
| 5 | 三重 | 69.18 | 中川 正 春 | 民主 | 自民 | 23.78 |
| 6 | 岡山 | 67.27 | 平沼 赳 夫 | 自民 | 民主 | 25.64 |
| 7 | 鹿児島 | 66.87 | 宮路 和 明 | 自民 | 民主 | 26.64 |
| 8 | 茨城 | 66.53 | 額賀 志 郎 | 自民 | 民主 | 28.96 |
| 9 | 奈良 | 65.38 | 田野瀬 良太郎 | 自民 | 民主 | 28.47 |
| 10 | 岩手 | 65.11 | 小沢 一 郎 | 民主 | 自民 | 18.88 |

衆院選栃木五区開票結果

当 124,612 茂木 敏充 自民前
次 35,131 中塚 英範 民主新
8,445 川上 均 共産新



2003年後半の主な出来事



9/20 自民党総裁選 で小泉首相が再選

- 8月**
 - 1日 平成16年度予算 の概算要求基準を閣議了解
 - 18日 日経平均株価が終値で1万円台 を回復(一昨年8月 以来ほぼ1年 ぶり)
 - 27日 北朝鮮の核問題を巡る6 カ国協議
- 9月**
 - 20日 自民党総裁選、小泉首相再選
 - 22日 小泉改造内閣が発足(茂木敏充が初入閣)
- 10月**
 - 10日 衆議院解散(選挙公示は10月 28 日、投開票日は11月 9 日)
 - 17日 ブッシュ米大統領来日
- 11月**
 - 9日 第43回衆議院選挙投・開票(与党が絶対安定多数を上回る 275議席獲得、民主党が議席増、共産・社民が激減)
 - 29日 足利銀行の経営破綻と一時国有化を決定
イラクで日本人外交官2名(奥克彦、井ノ上正盛)死亡
H2A ロケットの打上げ失敗
- 12月**
 - 10日 国と地方の税財政改革(三位一体)で1兆円 の補助金削減を決定
 - 17日 平成16年度税制改正大綱 を決定
 - 24日 平成16年度予算案 を閣議決定



11/9 衆院総選挙 で自民党240議席 を獲得

●奥大使、井ノ上書記官を偲んで

昨年11月 末、イラクの北部ティクリート近郊で、外務省の奥克彦参事官、井ノ上正盛書記官の2人の外交官が銃弾に倒れました。私が副大臣時代、イラク復興問題で一緒に仕事をしてきた仲間であり、悲しみに耐えません。2人は 厳しい環境のバグダッドに最初に入り、復興

支援の最前線に立ってきた責任感の強い外交官でした。彼らが果たせなかった思いを残された我々の重大な使命と受け止め、しっかりした支援策を展開していきたいと思えます。

平成16年度の主な税制改正

●減 税

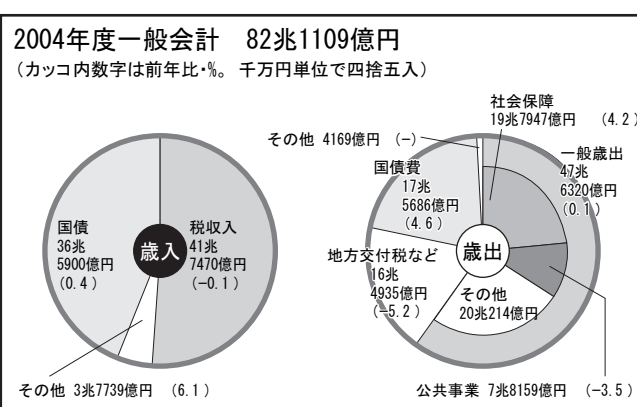
- 住宅売却時の譲渡損失の繰越控除制度創設(平成16年1月)
 - 買い替えに限らず、住宅を売却してもローンが残る場合、その残高を売却した年から4年間控除 できる
- 住宅ローン減税の延長(平成16年1月)
 - 最大で年50万す つ、10年間 にわたって所得税から税額控除する制度を1年間延長
- 土地譲渡益課税の軽減(平成16年1月)
 - 保有期間が5年 を越える土地を譲渡する場合、譲渡益にかかる所得税と個人住民税の税率を現行の26% から20% に引き下げ
- 固定資産税の新制度創設(平成16年4月 以降)
 - 商業地の課税標準額を市町村が独自に引き下げる制度を創設

●増 税

- 高齢者控除の廃止(平成17年1月 以降)
 - 65歳以上 で年間所得1000万円以下 の高齢者を対象とする現行の所得控除を廃止
- 公的年金等控除の縮小(平成17年1月 以降)
 - 65歳以上 の高齢者が受け取る公的年金の金額に応じて、最低でも140万円 まで所得控除できる制度を縮小
最低控除額を120万円 に引き下げる
- 個人住民税の均等割(定額部分)の引上げ(平成16年6月)
 - 1人当たり年3,000~4,000円 の税率を一律4,000円 に引上げ
 - 夫と家計が一緒に100万円超 の年収がある妻の非課税措置を平成17年度 から段階的に廃止

●平成16年度の予算案の概要 《82兆1109億円》

- 「緊縮型」予算:国の一般歳出は0.1%増、今年度の当初予算とほぼ同額に抑制
- 財政悪化継続:税収の伸び悩みが続き、新規国債発行額は過去最高の36.5兆円
- 年金改革:高齢者の年金給付を0.2~0.3%削減。2年連続で物価下落を反映
- 国・地方改革:地方向け補助金を1兆円削減。一方、国から地方へ4249億円 を税源移譲
- 金融・企業再生・中小企業対策:政府保証枠は2兆円、産業再生機構の地方版である中小企業再生支援協議会の拡充に27億円など
- 科学技術:科学技術関係予算全体で3兆6261億円、 対前年度0.8%増。内、科学技術振興費は1兆8241億円、 対前年度4.4%増



2003年後半：茂木敏充の動き

8月 2日(土)～8日(金)

対北朝鮮6カ国協議の事前調整でワシントンへ出張
(アーミテージ国務副長官らと会談)

16日(土)～22日(金)

外務副大臣として南米に出張(チリ、アルゼンチン、ブラジルを訪問し、ルーラ ブラジル大統領らと会談)

9月 22日(月)

内閣改造にて国務大臣(沖縄・北方、科学技術、IT担当)に就任

10月 4日(土)～5日(日)

大臣として沖縄へ初出張(稲嶺沖縄県知事らと会談)

16日(木)

「科学技術大学院大学に関する国際シンポジウム」出席のため沖縄へ出張

11月 9日(日)

第43回衆議院選挙 において4期目の当選
(124,612票、得票率74.1%)

17日(月)

第3回産学官連携 サミット・シンポジウム主催
(産学官の各界代表者1,000名出席)

25日(火)

第32回総合科学技術会議(首相官邸)



第32回総合科学技術会議にて総理にナノテクノロジーの説明



稲嶺沖縄県知事との会談



理化学研究所視察。バイオの先端研究室にて

12月 11日(木)

インドネシア、フィリピン、ベトナムの3カ国との間でIT分野における2国間協力の共同宣言に調印

15日(月)

北方領土視察のため北海道根室に出張

22日(月)

平成16年度予算案に関する財務大臣との復活折衝



根室納沙布岬にて北方四島を臨む

PROFILE 茂木敏充プロフィール



- ・1955年10月 7日 栃木県足利市生まれ(48歳)
足利高校、東京大学卒業、米国ハーバード大学大学院修了(政治学・政策科学専攻)
- ・1993年 7月 第40回衆議院選挙に初立候補し、旧栃木2区でトップ当選を果たす。
- ・1996年10月 第41回衆議院選挙で小選挙区栃木5区にて2期目の当選。
- ・1998年 8月 自由民主党副幹事長に就任。
- ・1999年10月 通商産業政務次官に就任。
- ・2000年 6月 第42回衆議院選挙で、108,837票を獲得し3期目の当選。
- ・2002年10月 外務副大臣に就任。
- ・2003年 9月 国務大臣就任。(沖縄・北方・科学技術・IT担当)
- ・2003年11月 第43回衆議院選挙で、124,612票の圧倒的支持を得て4期目の連続当選。

●茂木敏充後援会事務所●

■国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館639号室
TEL 03 (3508) 7639 (直通)
FAX 03 (3508) 3269

■足利事務所

〒326-0053 足利市伊勢町4丁目14-6
TEL 0284 (43) 3050
FAX 0284 (43) 3060

■安佐事務所

〒327-0843 佐野市堀米町608-8
オフィス堀米2階E室
TEL 0283 (21) 5350
FAX 0283 (21) 8826

■栃木事務所

〒328-0071 栃木市大町22-7 MT ビル1階
TEL 0282 (24) 4776
FAX 0282 (24) 9615